

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地			
岡山理科大学専門学校	昭和50年4月14日	奥田 宏健	〒700-0003 岡山県岡山市北区半田町8番3号 (電話) 086-228-0383			
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地			
学校法人加計学園	昭和39年9月20日	加計 晃太郎	〒700-0005 岡山県岡山市北区理大町1-1 (電話) 086-256-8403			
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養	文化・教養専門課程	トリミング学科	平成19年度文部科学省 認定	—		
学科の目的	動物の愛護及び管理に関する法律の理念に基づき、トリミング技術に関する理論と施術の実践的な指導教育を行い、地域における人と動物の豊かな共生社会の構築に貢献する。					
認定年月日	令和3年3月25日					
修業年限	昼夜	講義	演習	実習	実験	実技
2年	81	34	0	52	0	0
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人	42人	0人	1人	0人	1人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価 ■成績表:有 ■成績評価の基準・方法 成績は100点満点とし、60点以上を合格とする。評価は100点～80点を優、79～70点を良、69点～60点を可とし、59～0点を不可とする。			
長期休み	■春期休業:4月1日～4月9日 ■夏 季:7月20日～8月31日 ■冬 季:12月21日～1月9日 ■学年末:3月21日～3月31日		卒業・進級条件 本校に2年以上在学し、本校が定める授業科目を履修し、定められた単位数を修得した者に対して、校長は卒業を認定する。また、進級については学科で定められた規定単位数を修得することで進級を認定する。			
学修支援等	■クラス担任制:有 ■個別相談・指導等の対応 三者面談、長期欠席者(本人)または保護者への電話・メール連絡		課外活動 ■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 特になし。 ■サークル活動:無			
就職等の状況※2	■主な就職先・業界等(令和元年度卒業生) ペットショップ、ペットサロン、動物病院 ■就職指導内容 就職、進学などの進路支援活動を組織的に行っている。履歴書の書き方指導、面接試験対策など就職課を中央にクラス担任と協力して取り組んでいる。 ■卒業生数 23 人 ■就職希望者数 16 人 ■就職者数 16 人 ■就職率 100 % ■卒業生に占める就職者の割合 : 70 % ■その他 ・進学者数: 5人 (令和元年度卒業生に関する平成32年5月1日時点の情報)		主な学修成果(資格・検定等)※3 ■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和元年度卒業生に関する令和2年5月1日時点の情報) 資格・検定名 種 受験者数 合格者数 JKC公認トリマーC級 ③ 23人 23人 JKC公認ハンドラーC級 ③ 5人 5人 愛玩動物飼養管理士1級 ③ 12人 12人 サービス接遇検定2級 ③ 13人 6人 ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 3% 平成31年4月1日時点において、在学者37名(平成31年4月1日入学者を含む) 令和2年3月31日時点において、在学者36名(令和2年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更 ■中退防止・中退者支援のための取組 チューター制によるカウンセリング、専門のカウンセラーの常駐					
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: (有)無 ※有の場合、制度内容を記入 特待生選抜入試による授業料・入学金減免制度 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象(非給付対象) ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載					
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: (有)無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)					
当該学科のホームページURL	https://www.risen.ac.jp					

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業生に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業生の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

- (1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について
 - ①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。
 - ②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「1年」「資格取得」などを希望する者を含みません。
 - ③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年度に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

- (2)「学校基本調査」における「卒業生に占める就職者の割合」の定義について
 - ①「卒業生に占める就職者の割合」とは、全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいいます。
 - ②「就職」とは給料、賞金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。
 - ③上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

本校は、国際的に活動している愛犬団体ジャパンケネルクラブ(以後、略JKC)のトリマー養成協力機関として認定を受けており、JKC所属で活躍中のトレーナーと、顧客信頼度の高いブリーダーを学内に招聘し、最新の知識、技術、社会人としての人材作り、個人経営のノウハウ、動物業界についての情報等の様々な助言及び指導を受けている。そして、カリキュラム構成・講義内容・指導方法に反映させている。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

校務分掌の中に当該委員会を明記し、重要な策定組織と位置付けている。

当委員会の役割は、現教育課程の履行を調査・審査すること、国家・社会、業界の要請に鑑みて次年度の編成に向けての協議・検討を行う。教育課程編成委員会終了後に学科長より外部委員の意見が学科内にフィードバックされ、内容について精査されることになる。精査後に指導等、即時反映できる内容については年次進行中であっても講義または実習に組み込み、次年度のカリキュラムにて科目の内容に反映させる必要があると考えられる意見についてはカリキュラム変更までの間に学科会議等を経て、科目・内容・方法について調整を行い、科目内容に反映させることになる。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
平尾 智子	ジャパンケネルクラブ所属岡山県ダックスフンドクラブ 代表	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	①
足立 昌彦	足立ペットショップ 代表	令和2年4月1日～令和3年3月31日(1年)	③
奥田 宏健	岡山理科大学専門学校 校長		
亀森 泰之	岡山理科大学専門学校 動物系部長		
湯浅 康生	岡山理科大学専門学校 教務課長		
岡田 隆三郎	岡山理科大学専門学校 トリミング学科長		
喜多 秀樹	岡山理科大学専門学校 事務室長		

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月・11月)

(開催日時(実績))

第1回 令和元年6月25日 15:30～16:30

第2回 令和元年11月28日 13:30～14:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

平成30年度教育課程編成委員会ではグルーミング後に犬種によって合わないシャンプーによる肌荒れの事例について意見を受け、学校内で使用するシャンプーの種類や「グルーミング実習」等でシャンプーを使用する方法について学生の指導が必要とした。また就職のための意識づくりが必要とされた。学内に受付の模擬体験できる箇所を作り、実習が行えるよう施設設備の変更も行った。

平成31年度(令和元年度)の教育課程編成委員会では、シニア犬の増加傾向から、今後シニア犬の対応が重要になるとの意見を受けて、シニア犬をトリミングする際に必要な知識・技術について教授するよう指導内容に組み込んだ。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

「インターンシップ実習」では原則1週間の実習を行い、実際の仕事と社会経験を通じ、即戦力となる知識と経験を積むことを目的とする。学生はペットサロン等の各企業へインターンを自ら申込、企業と日程調整を行い、企業等の現場で知識の教授、または経験を積む。インターン終了後は企業より、インターン期間中の学生に対する評価を頂いている。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習科目「インターンシップ実習」では、職業人として必要な概念や現場に必要な知識・立ち居振る舞い・技術等、基本的なものから専門的なものまで実体験を通して学ぶ。また、学生自ら実習先を選択し、実習終了後の企業とのやり取り等も体験し、現場・現場以外でも重要なコミュニケーション力・人間力の向上にも努める。実習終了後に企業から評価表を得、学生へフィードバックする。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
インターンシップ実習	在学中に自分の就きたい職業の一員となって体験する取り組みで、自立した社会人・職業人となるためには欠かせない実習である。また就職指導の上からも大きな成果を期待できる。	「ペットのCharlie」・「ライフパートナーイケア株式会社」・「Dog garden」・「CAT&DOG Sesame」・「ドッグサロン pure」等 全51社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

「学校法人加計学園岡山理科大学専門学校職員研修規程」第2条により教職員は業務遂行のための知識・技能を身につけること、身につけた知識・技能の更なる向上に努めなければならないこと定められており、そのために研修等に参加することについても第3条にて機会が担保されている。

そのため、教職員は上、記規程に基づいて自身の業務遂行に関する研修等を受け、学校運営または教育研究に寄与していく必要がある。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JKC2019年 中国ブロックトリマー義務研修会」(連携企業等:中国ブロックトリマー委員会)
 期間:令和元年11月6日(水) 対象:公認トリマー有資格者(C級、B級、A級)
 内容:「ミニチュアシュナウザーの技術指導と実演」

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「平成31年度岡山市動物取扱責任者研修会」(連携企業等:岡山市保健所衛生課)
 期間:令和元年10月24日(木) 対象:動物取扱責任者
 内容:①講演「ダニ媒介性動物疾患について」②「関係法令及び動物の飼養管理に関する研修」

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

研修名「JKC2020年 中国ブロックトリマー義務研修会」(連携企業等:中国ブロックトリマー委員会)
 期間:令和2年11月4日(水)【開催中止】 対象:公認トリマー有資格者(C級・B級・A級)
 内容:モデル犬を使った実技講習

② 指導力の修得・向上のための研修等

研修名「令和2年度 岡山市動物取扱責任者研修会」(連携企業等:岡山市 保健所 衛生課)
 期間:未定【開催中止】 対象:動物取扱責任者
 内容:動物取扱業を行うにあたり必要な法令知識等の研修

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

設置学科に関係する業界代表者や有識者、卒業生代表、学術機関、他種の専門学校、高等学校、地域代表者を学校関係者評価委員会のメンバーに委嘱し、学校評価(自己点検評価)の公正性の評価を行い、学校運営・経営の適正化に関する意見を聴取して公正な学校教育に資する。また公教育的視野に立って、聴取した意見を公開する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	教育理念・目標(質問内容4)
(2) 学校運営	学校運営(質問内容6)
(3) 教育活動	教育活動(質問内容10)
(4) 学修成果	学修成果(質問内容4)
(5) 学生支援	学生支援(質問内容8)
(6) 教育環境	教育環境(質問内容3)
(7) 学生の受け入れ募集	学生の受け入れ募集(質問内容4)
(8) 財務	財務(質問内容4)
(9) 法令等の遵守	法令等の遵守(質問内容3)
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献(質問内容4)
(11) 国際交流	なし(ただし、学園教育交流協定先からの見学・研修訪問受入れ)

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会の意見の活用については教育課程編成委員会での外部委員の意見と共通するものもあるが挨拶・コミュニケーションの重要性や近年の若年層のマナーに関する意見等の人間力に関する意見が両会にて多く得られたため、トリミング学科として「大人に接する機会」、「社会(実習先・就職先)を意識できる」という環境を構築し、学生の社会性を養うこととした。具体的にはサロン等で来客に最初に接する場所である受付を模擬体験できる設備を作り、実際にモデル犬の飼い主とやり取りしながら受付業務を行えるようにし、大人と接する機会の確保と就職先・実習先を意識することが出来るよう整備を行った。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和2年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
洗井 健一	一般社団法人 岡山県建築士会 会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
春名 章宏	公益社団法人 岡山県獣医師会 会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
國近 寛康	公益財団法人 岡山県動物愛護財団 事務局長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
松本 浩子	公益社団法人 日本愛玩動物協会 岡山県支所 支所長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
山本 拓哉	有限会社 マリンシアター 代表	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	企業等委員
木村 智久	岡山理科大学専門学校 同窓会 会長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	卒業生
平井 義一	玉野総合医療専門学校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	校長
庄 公寿	庄屋電装 株式会社 取締役	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	町内会

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <http://www.risen.ac.jp>

公表時期: 学校関係者評価委員会終了後

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

学校関係者は、当該所属の代表者を選定しており、広く所属団体の意見を集約できる。また評価のフィードバックも期待できる。学校情報はホームページ、学校案内冊子、刊行物等で広く開示している。また、オープンキャンパスを年10回以上開催し、開かれた学校をPRしている。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校概要、目標と教育方針、募集定員
(2) 各学科等の教育	各学科の教育内容と目指す職業、取得資格
(3) 教職員	各学科の教職員のキャリアと担当科目
(4) キャリア教育・実践的職業教育	校外実習・演習の紹介、卒業後の就職先(刊行物パンフレット)
(5) 様々な教育活動・教育環境	年間学校行事、課外活動、教育施設・設備紹介
(6) 学生の生活支援	チューター制(2)に紹介、学生寮(5)紹介
(7) 学生納付金・修学支援	学納金、奨学金、長期履修制度紹介
(8) 学校の財務	収支決算報告(学校関係者評価ページ末尾)に紹介
(9) 学校評価	学校評価と学校関係者評価、保護者評価
(10) 国際連携の状況	学園の国際交流状況
(11) その他	(11) その他関連学園一覧、アクセス

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ、広報誌等の刊行物・その他())

URL:<http://www.risen.ac.jp>

授業科目等の概要

(文化・教養専門課程トリミング学科) 令和2年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	○			コンピュータ演習	Window、インターネット、およびオフィスソフト (Word、Excel、PowerPoint) の実用的な利用方法を習得し、ビジネスの現場で役立つ情報リテラシーを習得する。	1後	30	2	○			○		○		
	○			キャリアマナーⅠ	『あなたと一緒に働きたい』就職試験までにそう言ってもらえるように、しっかりとビジネスマナー、サービス接遇の基本を学びます。気持ちの持ち方ひとつで、表情や行動が変わり、周囲に与える印象もぐっと向上します。人に喜んでもらえる対応ができるように、自分をみつめ、知識と教養を身につけていきましょう。(サービス接遇2級取得を目指す。)	1前	30	2	○			○			○	
	○			キャリアマナーⅡ		1後	30	2	○			○				○
	○			キャリアデザイン	自分自身の職業人生やキャリアについて、自ら主体となって構想・設計し、実現していくためにどのように行動すればよいか、セルフワークやチーム学習を通じて気づき学んでいく。	1前	30	2	○			○			○	
	○			RS特別講義	「建築」「動物」の分野を超えた幅広い学外有識者を招聘し、様々な知識教養を身につけ、幅広い視野を養うことを目的とする。	2後	30	2	○			○				○
	○			動物飼養管理学Ⅰ	哺乳類、鳥類、爬虫類などを含む動物の適正飼養及びペットビジネス、動物愛護の普及に関する知識、動物関係法令の習得を目標とし、同時に日本愛玩動物飼養管理士(1、2級)資格取得を目標とする。	1通	60	4	○			○			○	
			○	動物飼養管理学Ⅱ	社会的に期待が高まっている日本愛玩動物飼養管理士(2級)資格所有者を対象に、さらに理論的、科学的に理解を深め、実践的応用力を高める。同管理士1級資格取得を見据え有利な就職に資する。	2通	60	4	○			○			○	
	○			動物形態機能学	解剖学、生理学は獣医学の基礎であり、動物に接する仕事や動物を飼育管理する上で必要となる基礎知識を学ぶ。この科目では犬猫を中心に、動物の複雑な体の構造と機能について標本や模式図を多用しながら系統的に学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	
	○			寄生虫・感染症学	動物の疾病のうち、特に感染率が高く発病の多い寄生虫病とイヌ・ネコの繁殖について学ぶ。前半は寄生という生物同士の生態から、イヌ・ネコの主要な寄生虫を学ぶ。後半ではイヌ・ネコを中心に繁殖について、生理・解剖から助産までを学ぶ。またヒトの社会に受け入れられないイヌ・ネコたちについても考える。	1前	30	2	○			○			○	
	○			グルーミング基礎	グルーミング作業に必要な基礎知識を(実技)講習を通して学ぶ。	1前	30	2	○			○			○	

11	○		ペット・クリップ造形学	ペットクリップを中心に部分的なカット方法を学び独自で体型に合ったカットを創作して実習に役立てる。	1後	30	2	○			○	○		
12	○		造形美術	実際にモデル犬を使い犬種に合ったカット方法を学び実習に役立てる。	2前	30	2	○			○	○		
13	○		グルーミング理論	グルーミング作業においてスタンダードにそった、スタイルを理論に基づき学ぶ。	2後	30	2	○			○	○		
14	○		動物疾病看護学	動物の病気はその種類、症状だけをみても実に多種多様である。「どんな病気があるのか?」「何が原因で、どこにどんな症状が現れるのか?」「治療法は?」といった疑問を解消すべく、犬猫を中心に病気を器官系統別に分類して理解を深める。	1前	30	2	○			○	○		
15	○		しつけ・行動理論	行動学の基礎をもとにトリマーとして、ペットの問題行動について飼い主から相談の多い事例について実例・実習を通して学ぶ。	2前	30	2	○			○	○		
16		○	ハンドリング実習	トリミング実習に役立つさまざまな骨格に沿った犬体の保定とハンドラー取得試験を目標とする。	2通	30	1				○	○	○	
17	○		動物飼育実習Ⅰ	学内飼育動物の給餌や運動、ケージの清掃・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。	1通	30	1				○	○	○	
18	○		動物飼育実習Ⅱ	学内飼育動物の給餌や運動、ケージの清掃・消毒等の世話を通して、動物に慣れ親しみながら飼育・健康管理のポイントや動物の扱い方について学ぶ。また、猫飼育も実習する。	2通	30	1				○	○	○	
19	○		動物看護実習	動物の看護をトリマーの視点で実践して学び応用し、動物病院等の仕事に役立てる。	1前	30	1				○	○	○	
20	○		しつけ・行動実習	しつけ理論で学んだしつけ行動学を実際にモデル犬を使って応用し、トリマーとしてのドッグトレーニングを学ぶ。	2後	30	1				○	○	○	
21	○		グルーミング実習Ⅰ	前期では正しい道具の使い方、動物の扱い方に慣れ、仕上げまでの細かな準備や注意点を理解し、スムーズな作業の流れを作る。	1前	330	11				○	○	○	
22	○		グルーミング実習Ⅱ	前期の実習を基礎にカットに細かなアレンジを加え、その犬の体型や毛質にあったカットで欠点をカバーし、オーナーの理想に近い仕上げを行う。	1後	330	11				○	○	○	
23	○		グルーミング実習Ⅲ	グルーミング実習Ⅰ、Ⅱで学習したペットクリップをもとに体型補正やアレンジを加えカットの完成度を高める。	2前	360	12				○	○	○	
24	○		グルーミング実習Ⅳ	犬種標準を理解しトリミングによってその犬種をより理想的な形で表現する。またカットの時間の短縮と完成度をさらに高める。	2後	330	11				○	○	○	

25	○	インターンシップ実習	在学中に、自分の就きたい職業を職場の一員となって体験する取り組みで、自立した社会人・職業人となるためには欠かせない実習である。また、就職指導のうえからも大きな成果を期待できる。	2通	60	2			○	○	○	○
合計			25科目	2070単位時間(86単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
各科目において学習評価と出席時数による認定によって取得された総単位数が81単位以上であること(全科目必修)。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。